

博士課程教育リーディングプログラム 平成24年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成23年度		
申請大学名	大阪大学	申請大学長名	平野 俊夫
申請類型	オールラウンド型	プログラム責任者名	東島 清
整理番号	A02	プログラムコーディネーター名	藤田 喜久雄
プログラム名	超域イノベーション博士課程プログラム		

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

超域イノベーション博士課程プログラムでは、さまざまな専門領域、国境、既成観念、相場観といった「境域」を超えて社会システムの変革を導くイノベーション、すなわち、超域イノベーションを実現するための高度な専門力とそれを超域することによってさまざまな分野で活用するための汎用力に支えられた知的体力と勇気を持つグローバルリーダーとなる博士人材を養成することを目的とする。

大阪大学では、大学の使命は大学でしかできない基礎的学術研究と、大学でしかできない学問基盤を有した人材の育成である、という理念のもと、特に、教育の面では、将来各方面で指導的立場に立ち、人類の福祉と繁栄に寄与できる国際性豊かな優秀な人材を育て、世に送り出すことを大きな目標としている。そのもとに、本プログラムを、22世紀においても輝き続ける大阪大学の基盤の一つに位置付けて、強力に推進する。

2. プログラムの進捗状況

- ・ 一期生20名を受け入れ、4月当初から独自のコースワークを実施した。コースワークでは、16科目の新規モジュールのほか、社会的課題解決について学ぶワークショップ型の授業、語学研修と多文化理解を目的としたオーストラリアでの語学研究、フィールドスタディ（ブータン、セブ島、クック諸島のいずれかに派遣）とプレインターンシップ（欧州、米国、東アジアのいずれかに個別派遣）からなる海外実習、ライフスキルを高めるためのスポーツコミュニケーション（淡路島での合宿を含む）などの汎用力の養成に向けた特徴的な科目を独自に開発して、実施した。
- ・ 企業トップ訪問、学外でのワークショップなどを通じて、一期生にリーダーの具体像を獲得させるとともに、それらの実施方法を獲得した。
- ・ 履修生の自主的活動支援の枠組みを導入し、グループ型や教員発案型によるアクティビティを計10件支援して、一期生の企画力や実践力を高めた。
- ・ 12月に大阪市内でシンポジウムを開催し、計230名（うち、産業界から55名）の参加を得て、将来における学外連携の足掛かりを形成した。
- ・ 学界4名、産業界3名からなる外部評価委員会を組織し、12月にその第一回の評価委員会を実施して、プログラムの進捗を自ら評価確認した。
- ・ 二期生の募集について、書類審査・面接と英語学力確認による一次選抜・小論文やワークショップなどによる合宿型の二次選抜を実施した。